



2026 FORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIP  
RACE REPORT

# SUZUKA CIRCUIT

Rd.2

5.23[sat] - 24[sun]

[place] 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

[weather] sat 曇り一時雨 sun 晴れ

[spectators] 33,000人 (fri 4,000人 sat 13,000人 sun 16,000人)

※ SUPER FORMULA、SUPER FORMULA LIGHTS と併催

Rd.1	SUZUKA CIRCUIT	FEB 28 - MAR 1
Rd.2	<b>SUZUKA CIRCUIT</b>	<b>MAY 23 - 24</b>
Rd.3	MOBILITY RESORT MOTEGI	JUN 27 - 28
Rd.4	Sportsland SUGO	AUG 29 - 30
Rd.5	FUJI SPEEDWAY	SEP 25 - 26
Rd.6	FUJI SPEEDWAY	OCT 10 - 11

## 雨絡みの予選でライバルに先行されるも、 三浦柚貴が2戦連続の表彰台でランキング首位を維持。 武藤雅奈も追い上げのレースをみせて、 Race5で2位を獲得。

### QUALIFYING

天候:曇り時々雨 | 気温:19℃ | 路面温度:20℃

2026年のRound2は、開幕大会と同じ鈴鹿サーキットが舞台。23日(土)朝の予選では、開始直前に雨がパラつき始めた影響もあり、開始直後に1台がコースオフし赤旗中断。残り6分でセッションが再開され、限られた状況下でのタイムアタックのなか、三浦柚貴が2位に入った。続く予選2回目は目まぐるしくトップタイムが更新される展開に。三浦もその争いに加わったが、0.327秒差で3位に終わり、決勝での巻き返しを狙う。一方の武藤雅奈は雨絡みのコンディションに苦戦し、1回目で6位、2回目で5位という結果に終わった。



### RACE

**Race 4** 天候:曇り | 気温:20℃ | 路面温度:22℃

**Race 5** 天候:晴れ | 気温:23℃ | 路面温度:28℃

23日(土)13時から13周で争われたRace4決勝。2番グリッドからスタートした三浦は、僅差でトップを走るライバルを終始追いかけて続けたが、逆転には至らず2位でフィニッシュ。6番グリッドの武藤は序盤からペース良く走行し、残り4周のところで3位に浮上。そのままチェッカーを受けて見事表彰台を獲得した。

24日(日)9時30分からのRace5決勝でも武藤がレースペースの良さを活かして2番手に浮上。終盤にはトップの車両に近づく場面もあったが、逆転は叶わず2位でフィニッシュ。連続表彰台獲得となった。三浦はスタートで2番手に上がったが、その後は力強いペースを発揮することができず、3位でレースを終えた。



**RESULTS**



Round 4	
予選	2位
決勝	2位
Round 5	
予選	3位
決勝	3位
Rd. 4	Rd. 5
QUALIFYING	
P2/2'01.138 QF1 BestTime	P3/1'56.552 QF2 BestTime
RACE	
P2/1'56.885	P3/1'57.142
STANDINGS	
DRIVERS	1位
TEAMS	2位

**37 三浦 柚貴** YUZUKI MIURA | PONOS RACING TOM'S TGR-DC FR

**RESULTS**



Round 4	
予選	6位
決勝	3位
Round 5	
予選	5位
決勝	2位
Rd. 4	Rd. 5
QUALIFYING	
P6/2'03.718 QF1 BestTime	P5/1'56.793 QF2 BestTime
RACE	
P3/1'56.657 Fastest Lap	P2/1'56.657
STANDINGS	
DRIVERS	3位
TEAMS	2位

**38 武藤 雅奈** MASANA MUTO | マツモトキヨシ TOM'S TGR-DC FR



Driver  
三浦 柚貴

めちゃくちゃ悔しいです。全体的にあまりペースも良くなかったですし、ミスもありました。あとは2レースともトラブルというか、ある症状が出ていて、特に2レース目の方が顕著で、気になったところではありました。でも、クルマのせいにはいけないので、とにかく悔しいです。自分のペースにも課題があるので、そこを克服して次回のもてぎでは優勝を目指して、とにかく速く走れるように頑張ります。



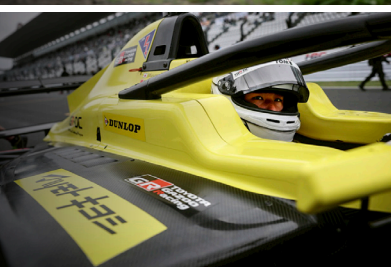
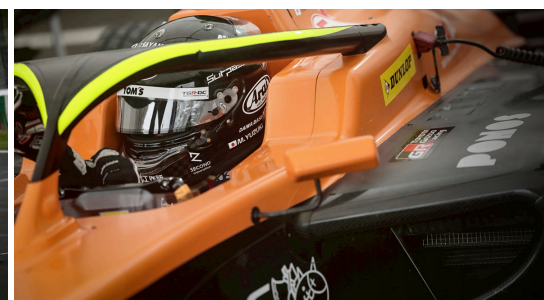
Driver  
武藤 雅奈

予選は雨が降っていたので、いつも以上にクルマをコントロールしなければいけなくなりました。ドライ路面のように自信を持って走ることができませんでした。まさに自分がこれから直していかないといけないところが出た感じでした。1レース目に向けてアジャストしたことが良い方向にいったと思います。2レース目はスタートが良くなかったのですが、ペースは悪くなくて、前回の自分と比べても大きなミスはなく、そこは良かったです。ただ、オーバーテイクをするにあたっての組み立てでは課題が残りました。次戦に向けて意識して準備していきたいと思います。



Team Director  
山田 淳

予選ではクルマもドライビングも合わせられずポールポジションを取れなかったのは残念ですが、決勝では2人とも表彰台に乗って、しっかりとポイントを獲得してくれました。武藤選手も開幕大会と比べても良くなってきているところが増えてきています。2人とも経験値が浅いですし、三浦選手についてはレース経験が少ないなか、オートポリスでスーパーフォーミュラ・ライツに代役参戦したことが、今大会でも良い方向に向いたかなという実感はしています。とはいえ、ライバルに押され気味なところもあったので、しっかりと振り返って次戦に向けて組み立てを考えてもらいたいと思っています。



PONOS

